

27 下北地域の農業を担う新規就農者の育成

【概要】

新規新規就農者「農業力」向上事業を活用し、新規就農者の栽培技術や経営管理能力等の「農業力」と、販売力の向上を図り、下北地域の農業を担う人財の育成に取り組んだ。

【背景・課題】

下北地域では、夏秋いちごやにんじくの栽培を中心に新規就農者が年々増加しているが、他産業からの新規参加者が多く、栽培技術や経営管理能力の不足、販売のノウハウ不足等が課題となっている。

【普及指導活動の内容】

- 新規就農者「農業力」養成塾の開催
 - ・新規就農者の「農業力」向上のため、スマート農業や夏秋いちご・にんじくの栽培技術研修や経営管理手法習得のため集合研修を実施した。
(6回、延べ70名参加)
 - ・夏秋いちご省力栽培実証ほ及びにんじく高品質大玉生産実証ほを設置し、検討会を開催した。
 - ・市町村、農協、農業経営士等関係者を参集して新規就農者育成に係る連絡会議を開催し、新規就農者に係る情報を共有した。また、農業経営士2名にアドバイザーを依頼し、新規就農者が抱える課題を相談できる体制を整備した。
(7～1月：相談件数延べ62件)
- 新規就農者の販売力向上
 - ・新規就農者を中心としたプロジェクトチームで「しもきたマルシェ」の企画・運営方法を検討した。
 - ・「しもきたマルシェ」を7～10月に4回開催した。

【成果】

- ・新規就農者「農業力」養成塾では、参加者の栽培技術や経営管理能力が図られ、実証ほの設置により省力化技術への意識が高まっている。
- ・営農上の課題を新規就農アドバイザーへの相談することで、迅速な課題解決が図られ、能力向上につながっている。
- ・しもきたマルシェでは、販売の実践を通じて、回を重ねるごとに消費者への声かけや商品説明を積極的に行う等、販売力が向上している。

【対象名】

農業次世代人材投資資金活用者19名、認定新規就農者、新規就農者等



経営管理研修



先進地視察研修



しもきたマルシェでの販売実践